

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008仙第32号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成20年9月21日（日）12時20分ごろ	
発生場所	青森県西方 鱒ヶ沢港北防波堤灯台から真方位065° 3,000m付近 （概位 北緯40° 47.9′ 東経140° 14.7′）	
事故等調査の経過	平成20年10月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 水上オートバイ ^{エイチ} Hー ^{ふうかん} 風環一号、5トン未満（長さ2.70m） 212-9726青森、個人所有 B 水上オートバイ ^{クワン} KUANN、5トン未満（長さ2.70m） 212-12206青森、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、特殊小型船舶操縦士 B 船長、特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	A 負傷者 1人（同乗者） B 負傷者 1人（同乗者）	
損傷	A 左舷船首部にき裂、左舷バックミラー脱落 B 左舷船首部に塗膜剥離	
事故等の経過	A船は、船長Aほか友人1人が乗船し、青森県鱒ヶ沢町七里長浜港付近の海岸を発し、同港北東方沖において約20km/hの速度で遊走中、B船は、船長Bほか友人1人が乗船し、七里長浜港付近の海岸を発し、同港北東方沖において20～25km/hの速度で遊走中、平成20年9月21日12時20分ごろ、A船の左舷船首部とB船の左舷船首部とが衝突した。 衝突の結果、A船は、船長Aと同乗者Aが落水し、同乗者Aは肺水腫を負い、B船は、船長Bと同乗者Bが落水し、同乗者Bは肋骨骨折等を負った。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：うねり なし	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船の左舷船首部とB船の左舷船首部とが衝突したものと考えられる。 A船は、適切な見張りを行っていなかったため衝突直前まで、B船の存在に気付かなかったものと考えられる。 B船は、適切な見張りを行っていなかったため衝突直前まで、A船の存在に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、鱒ヶ沢港北東方沖において、A船及びB船が、周回しながら	

	それぞれ遊走中、A船がB船に気付かず、また、B船がA船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
--	---